

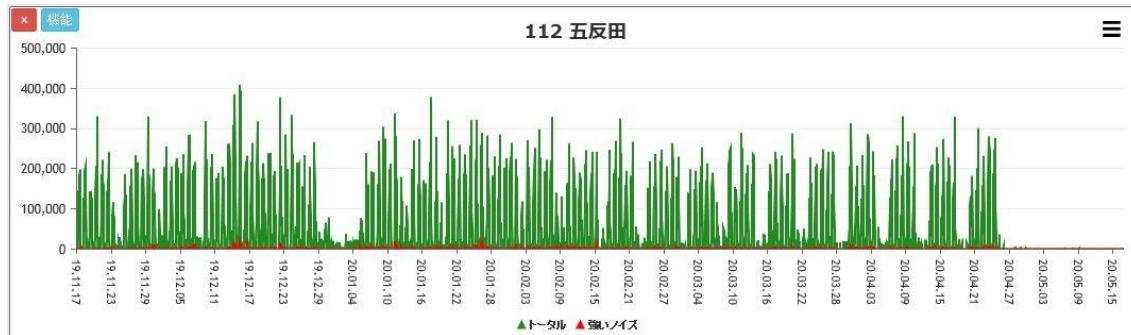
200515 五反田の収束 関東の地震は厳重注意

数年に渡る長期に続いた五反田のデータが ここへきて急な収束を迎えています。
このような長期のデータが 3段階の減衰のあと収束するのは 2016年の熊本地震の
前の 高知 B449 のデータの例があります。
関東地方は 長野の群発などもあってここ数日は要警戒と考えます。

五反田 1080日データ>2018年12月に1段階減衰している



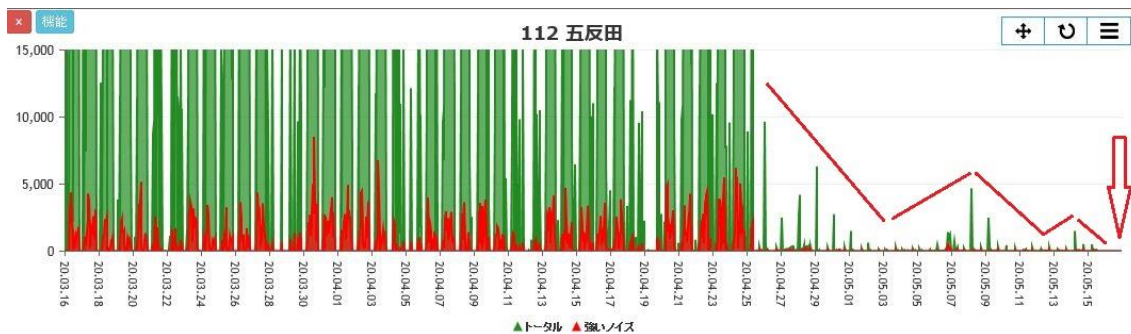
減衰したデータがまた長く続いたが 今年4月の後半で再度減衰している。

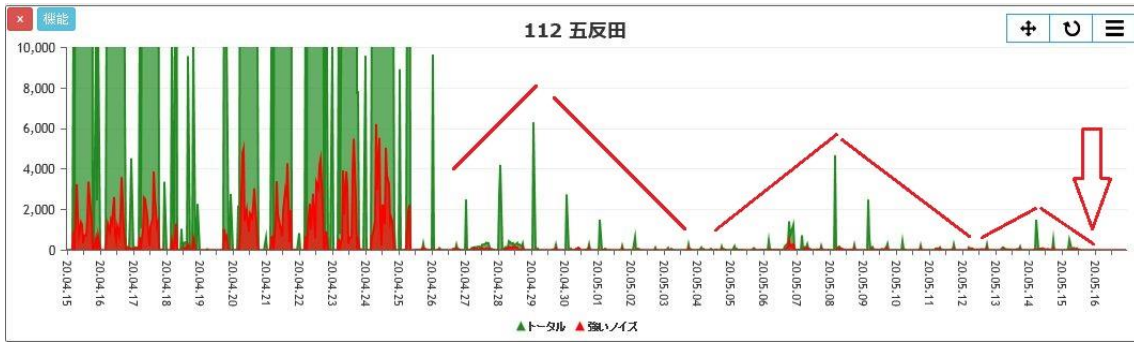


今年4月末の減衰したあとは データが収束にむかっている。



何度か山をつくって収束してきている。





考察 (2020,5,15) :

数年に渡った長期データであった五反田のデータが 2018年12月に1度減衰してその後 1段減ったデータが また長期に続いたが 今年(2020年)の4月25日あたりにさらに減ってきました。その後、3回の山を繰り返しながら収束に向かってきています。このような長期のデータが 3段階の減衰のあと収束するのは 2016年の熊本地震の前の 高知 B449 のデータの例があります。熊本地震は M6.3 の前震 2 日後に M7 の本震が来て大きな被害になっています。

したがって関東地方は 長野の群発などもありまた伊勢や安曇野、甲府などの観測点のデータの収束もあることから、ここ数日は要警戒と考えます。

参考 : 2016年4月熊本地震の前の高知 B449 の減衰、収束の状況

